

各 位

「活用事例でわかる！統計リテラシー」に誤りがありました。
 謹んでお詫び申し上げますとともに、誠にお手数ですがご訂正の程よろしくお願い申し上げます。

ページ	誤	正
P.157 ◆相関係数で数値的に確認する	相関係数は下記のような数式で求めることができます。 $\text{相関係数} = \frac{(X \text{ の偏差} \times Y \text{ の偏差}) \text{ の合計}}{X \text{ の標準偏差} \times Y \text{ の標準偏差}}$	相関係数は下記のような数式で求めることができます。 $\text{相関係数} = \frac{(X \text{ の偏差} \times Y \text{ の偏差}) \text{ の平均}}{X \text{ の標準偏差} \times Y \text{ の標準偏差}}$
P.175 ワンポイント ★実際に全国の大学生を調査するとしたら？	現在、 四年制大学だけでも学生数は 6 万人 を超えているといわれています。 1 人 10 秒で聞き取りをしたとしても 約 167 時間 、24 時間不眠不休で聞き続けたとしても 1 週間 はかかる計算になります。また、実際には不眠不休というわけにはいきませんし、移動時間なども必要です。何より、交通費や謝礼、協力依頼など、調査の準備と実施において、膨大な時間と費用がかかることでしょう。	現在、 四年制大学の 1 学年だけでも学生数は 60 万人 を超えているといわれています。 例えば、全国の大学 1 年生に 1 人 10 秒で聞き取りをしたとしても 約 1,667 時間 、24 時間不眠不休で聞き続けたとしても 約 2 か月半 (10 週間) はかかる計算になります。また、実際には不眠不休というわけにはいきませんし、移動時間なども必要です。何より、交通費や謝礼、協力依頼など、調査の準備と実施において、膨大な時間と費用がかかることでしょう。